

心ゆたかに

三芳町立藤久保中学校 学校だより 第9号
学校教育目標 「自ら考え進んで行動する生徒」
令和7年1月15日(水)発行 文責 菅谷 和孝



新 HP

「新生」

校長 菅谷和孝

令和7年が始まるとともに、今年度最後の学期(3学期)がスタートしました。1月8日(水)の朝に元気よく登校時に挨拶してくれた藤久保の生徒たちは、落ち着いた雰囲気の中で始業式を迎えることができました。今年の干支(巳)はよく「新しい挑戦を始めること」「生活のリズムを見直すこと」などによりタイミングの年とよくいわれます。藤久保中学校もこのよきタイミングの年に、「藤中プライド」をマイナーチェンジするとともに、新たに「藤中アクション」を策定し、始業式で生徒たちに発表しました。

<New 藤中 Pride>

*無償の「あいさつ」

あいさつは見返りを求めず、爽やかに自己紹介をするイメージで、相手と正対して声だけでなく心が届くあいさつをしてほしい。

*前向きな「返事」

‘よろこんで’や‘わかりました’など、他者に対してきちんと反応すること。断る場合などにおいても、意見や別の考え方を添えて、前向きな考えを伝えてほしい。

*思い溢れる「言葉がけ」

言葉は使い方によってはナイフにもなる。一方で薬やお守りにもなる。感謝や激励、補助的な言葉がけなど、相手のことや立場、状況を考え、思い溢れ、心ある言葉がけを大切にしてほしい。

という思いからマイナーチェンジ(リニューアル)をしました。藤中で身につけたこのプライドを大切に、意識から無意識にと、自然にできるようにと願っています。



<藤中 Action>

*Next one「一つ先」

何事も「一つ先」を考えて行動してほしい。この先がどうか、その先には何が待ち受けているのかなど、今見えていることの先を想像して行動してほしい。

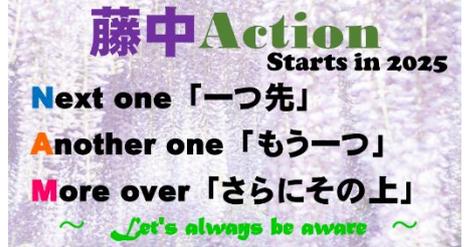
*Another one「もう一つ」

この現状に満足することなく、何か「もう一つ」できないか、別の手段として「もう一つ」ないか、新たに何かできないか、などを考えて行動してほしい。

*More over「さらにその上」

可能性は∞(無限大)。1歩がなければ2歩も10歩もない。限界を自分で決めず、常に「さらにその上」と高みを目指しながら行動してほしい。

これからの社会で求められる力の一つとして「問題を解決する力」が重要だと言われています。目の前のことだけでなく、この先どのようになってゆくのか、別の角度からの視点はどのようなことなのかなど、多角的・多面的な創造力・思考力を身につけることで、解が1つではない複雑で難しい問題へも対応できるようになるという思いから設定しました。



本校の学校教育目標は「自ら考え進んで行動する生徒」です。言われたことしかできなかつたり、マニュアルに記載されていることしかできなかつたりするのではなく、物事の本質を捉え、課題や成功の道筋を見極め、周囲(仲間)と協力し合いながら前に進んでいく。そして、今年から設定した「New 藤中 Pride」「藤中 Action」を常に心がけ、藤中の花「藤」の花言葉にもあるよう、世の中で歓迎される生徒で巣立ってほしい。そう願いながら2025年(昭和100年)をスタートいたしました。本年も引き続き、本校の教育活動にご理解、ご協力、さらにはご支援ほど、どうぞよろしくお願い致します。